



「まいにち笑顔 みんなが笑顔」



励ましは「万の力」、一は「万のもと」

令和6年、明けましておめでとうございます。2週間の冬休みが終わり、今日から3学期が始まりました。「おめでとうございます。」とは言ったものの、今年は年明け早々に石川県を中心とした大きな地震があり、被災をして未だに行方不明の方もたくさんいます。また、羽田空港での飛行機事故もあり、遠方に出かけていた人たちが東京に帰って来られないという状況もありました。被災された方、また直接ではないにしろ、災害・事故に巻き込まれた方にお見舞いを申し上げます。

さて、「励」この字を見たことはありますか。これは、「はげ(ます)」「(ゲキ)レイ」と読み、中学生で習う漢字です。「励ます」とは、相手が元気になる言葉をかけたり、応援してあげたりすることです。

この字をよく見ると、小学生でも習う字が含まれています。「万」と「力」です。「励ます」というのは、相手に「万の力」、大きな力を与えることになります。

野球のヒーローインタビューや優勝したスポーツ選手のインタビューでは、「皆さんの応援で頑張れました」などのコメントをよく耳にします。サッカーでは応援席にいる観客をサポーターといい、12番目の選手だといいます。サポーターの応援が選手の力となり、一緒にプレイしているのと同じだからです。

皆さんも困ったとき、苦しいときに「大丈夫?」「応援しているよ。」「すごいね。」などと言われ元気が出たとか、最後まで頑張れたなどの経験はないですか。それが「万の力」です。今日、学校だよりも書きましたが、校長先生もマラソンをされていて辛くなった時に、沿道の人々の応援で最後まで走りきれた経験から、応援、励ましが大きな力になることを実感しました。

また、「万」もよく見ると、一画目には「一」と書きます。一はすべての始まりで、万に通じます。逆に、万を求めたければ、初めの一が大切になります。友達を励ましたり応援したりする機会がなくても、その初めの一に当たる声掛けが挨拶です。挨拶は、いつでも、どこでも始められます。まずは、誰とでも「おはよう」「さようなら」など挨拶をし、困っている友達がいたら「大丈夫?」、頑張っている友達には「がんばれ」と声を掛けてもらいたいです。そうすることで、その友達は「万の力」を得て、悩みを解決したり、最後まで頑張ったりできるはずです。

一つの挨拶・声掛けが万の励ましとなり、相手に大きな力を与えます。また、一人への励ましが万人に力を与えていきます。3学期に学校に来るのは52日間です。あっという間の3か月ですが、この間にも大変なこと、困ったことなどがあると思います。そんな時こそ、挨拶、励ましの言葉が飛び交う七小であってもらいたいと願っています。3学期も「まいにち笑顔、みんなが笑顔」で過ごしていきましょう。